

第2回横浜市南区地区センター及び横浜市南寿荘指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和8年8月6日（水）14時00分～17時00分
開催場所	南区役所1階多目的ホール
出席者	影山委員長、池田委員、坂本委員、坪内委員、吉川委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	1 大岡地区センターの次期指定管理者の選定について 2 南センターの次期指定管理者の選定について 3 永田地区センターの次期指定管理者の選定について
決定事項	1 大岡地区センターと南センターの次期指定管理者の候補者を「特定非営利活動法人みなみ区民利用施設協会」に決定した。 2 永田地区センターの次期指定管理者の候補者を「アクティオ株式会社」に決定した。
議 事	1 選定委員会の進め方の確認について 別所、六ツ川一丁目、睦の3コミュニティハウスと六ツ川スポーツ会館については、8月18日（火）にて選定を実施することを周知。 審議の非公開について確認。 提案団体による提案説明の流れと質疑応答、意見交換の流れについて確認。 2 応募団体について （事務局）大岡地区センター・南センターについて同じ1者からのみ、永田地区センターについては別の1者からのみの応募であったことを共有。 （池田委員）応募団体2者の財務状況について説明。直近3年間の財務諸表等の確認により、応募団体の財務状況に大きな問題がないことを共有 （事務局）応募団体について、市税の納付状況について滞納がないこと及び暴力団または暴力団経営支配下法人にも該当しない団体であることを報告 3 面接審査 （1）大岡地区センター・南センター ア 提案説明 応募団体より、応募書類の内容に沿って提案内容を説明 イ 質疑応答 <委員> 施設利用者から、「来てよかった」、「イベントに参加して楽しかった」というようなお声をもらうことはあるか。 <団体> 団体全体としては管理している施設について定期で利用者アンケートを実施しているが、その中でも満足あるいはやや満足というふうにお答えいただいている方が、98パーセント以上いる。 <委員> 応募資料の中に、地域福祉保健計画に関する連携の話があったが、プレゼンテーションの中では南太田地区、太田地区を参考にされていたが、場所的には井土ヶ谷地区、蒔田地区のご利用も多いと考えるが、なぜ太田地区を参考にしたのか。

＜団体＞ 南センターの所在地であるため。近隣の地区である井土ヶ谷地区、蒔田地区のご利用があるが、蒔田地区には蒔田コミュニティハウスがある。南太田地区や太田地区のみで連携しているわけではなく、井土ヶ谷地区等とも連携はしていく。立地の観点で考えると、距離的に近い、南太田地区、太田地区との連携が濃くなっている。

＜委員＞ サービス向上の取り組みとしてプレイルームを改善するとのことだが、どのような改善を考えているか。

＜団体＞ マット、おもちゃ、絵本を考えていて、これらについてかなり古いものなので、利用者や子育て支援者に助言を受けながら魅力的なものを導入したい。

ウ 総評

- ・ 限られた予算を活動できる範囲の中で、ニーズを受け取りながら、様々なイベント企画をされているという努力や熱意を感じた。
- ・ 横浜市よりY-SDGsを取得しており、公的に認められた取組を行っている点は評価できる。
- ・ 地域とのつながりを意識した提案内容は評価できる。
- ・ 南センターについて、高齢者に向けた施設であるという特性もあり、乳幼児から高齢者までのそれぞれの世代の良さを生かした2世代交流が行われている点が評価できる。

(2) 永田地区センターの質疑応答

ア 提案説明

応募団体より、応募書類の内容に沿って提案内容を説明

イ 質疑応答

＜委員＞ 全国展開で指定管理者として多くの施設を管理運営されているとのことだが、ノウハウを生かして他の施設で実施した事業を永田地区センターへ展開されたり、逆に永田地区センターで実施した事業を他の施設に展開したりという取組は行っているか。

＜団体＞ 今回の提案の自主事業の取組は他施設で実績があったものを永田地区センターで実施していきたいという内容になっている。応募団体本社の担当が複数施設（横浜市外含む）を担当しているため、各施設の状況より判断して取組の展開を行っている。

＜委員＞ インクルーシブスポーツの指定事業について、モルック、ボッチャについて記載があるが、講師はボランティアか、各協会へ依頼しているのか、どちらかを考えているのか教えてほしい。

＜団体＞ モルックの講師については、当団体の人脈の中から選定、状況によってはボランティアへ依頼することを想定している。

＜委員＞ 提案内容（指定事業）について、小中学生向けのものが多く感じられるものですが、乳幼児や子育て支援といった、子育て中の親の

ための事業については考えているか。

<団体> プレイルームでのおはなし会と、月に2回の「はぐはぐの樹」の出張と子育てホットタイムがある。それ以外だと、未就学児対象（未就学児専用ではない）とはなるが、そろばん教室が年長以上だが、3歳未満の事業となると足りない自覚はある。

<委員> 防災拠点について、永田地区センターは開放避難場所になっているが、永田地区センターには従業員の災害時の備蓄品として3日分と記載されているが、利用者に対してはどのようなになっているか。

<団体> 現在のところ、基本的に災害時においては、南区の災害対策担当に出てきてもらうようになっていて、我々としては場所を開けるというシステムになっています。記載の量で十分か、という観点では回答が難しく、現時点においては、利用者分を常に用意するだけのちょっとバックアップは今のところはないという状況である。今後検討が必要とは考えている。

ウ 総評

- ・ いくつも施設の管理運営をされていてノウハウが蓄積されていて、他施設とのつながりがある点、取組（事業）も個性的である点が評価できる。
- ・ 指定事業について、趣味を発掘・発表・サークル活動へつなげる流れができており、それが永田地区センターの利用を継続してもらえる環境づくりにつながっている点が評価できる。
- ・ 利用者サービス向上の取組とスタッフ対応の提案等については評価できる。
- ・ 乳幼児向け、高齢者向けの事業が少なく感じた。
- ・ 広く様々な人に声掛けをして、広く様々な事業をアプローチかけて立ち上げていくような提案内容となっており、大変意欲的な提案と感じた。

4 審査結果

(1) 大岡地区センター

委員5名の合計評価点666点により、指定候補者を「特定非営利活動法人みなみ区民利用施設」に決定。

(2) 南センター

委員5名の合計評価点739点により、指定候補者を「特定非営利活動法人みなみ区民利用施設」に決定。

(3) 永田地区センター

委員5名の合計評価点688点により、指定候補者を「アクティオ株式会社」に決定。

	5 その他 選定結果は区長に報告。議事録は委員長と調整し作成のうえ、ホームページに掲載。12月市会に上程し、議案可決後、正式に決定。
資 料 ・ 特記事項	1 資料 (1) 提案資料 (2) 評点集計表 2 特記事項 なし